

米・イスラエル軍によるイラン攻撃弾劾!

核戦争を阻止しよう!

日帝の核武装阻止・粉碎! 尾上「核保有」発言弾劾!

3.11 闘争実行委員会

杉並区下高井戸 1-34-9 第一センター

2月28日、米軍・イスラエル軍がイラン空爆を強行しました。開始72時間で2000カ所以上を爆撃したと報道されています。以降、爆撃が続いており、すでに1000人以上のイラン人民が虐殺されています。この中には、小学校の児童も多数含まれています。さらにイスラエル軍はレバノンへの地上侵攻を開始しました。徹底して弾劾します。

米軍は、昨年6月にも大型地中貫通爆弾(バンカーバスター)を使用し、イラン国内核施設を空爆しています。トランプは、さらなる大規模な攻撃を主張し、長期の戦争・大虐殺を準備しています。



反戦と反帝学評が空爆翌日にアメリカ大使館前で弾劾行動(3月1日午後)

これらを許さず、革命的反戦闘争を闘おう。アメリカ大使館・イスラエル大使館に抗議の闘いを叩きつけよう。

核施設爆撃弾劾! 核戦争を阻止しよう!

米・イスラエル軍のイラン攻撃は、核戦争の危機を強めています。トランプやネタニヤフは、イランの核疑惑を主張し、核保有阻止を掲げています。しかし、アメリカこそが最大の核兵器保有国であり、イスラエルも核兵器を保有をしています。核独占・寡占体制を維持するため

に、核疑惑を訴えイランとの「核協議」をおこない、これまでも経済制裁をおこなってきました。今回の攻撃は、昨年6月の核施設爆撃に続き、さらにそれを進め大規模な戦争に突入するというものです。

23年11月には、イスラエルの閣僚がガザに

対して核兵器使用を「選択肢のひとつ」と核保有を実質的に明言して脅しをかけています。

ウクライナ戦争を巡っても、ロシアによる核使用恫喝、ウクライナ・ゼレンスキーによる「NATO加盟が難航するなら核兵器を」という対抗関係が続いています。

また、フランス大統領マクロンは、2日、保有する核弾頭を増やし、「核の傘」を広げると表明しました。

「核抑止」の考え方は、核保有国による支配

体制の維持であり、他国に対して核戦争恫喝をおこなうものです。しかし、核兵器を保有すること自体が核戦争の危険を常に増大させています。現在世界には1万2000発もの核兵器があります。核兵器の使用によって、人体はもとより環境・地球への破壊作用も計り知れません。

全世界労働者人民、そして被爆（被曝）者との連帯をかけ、反戦・反核闘争を闘おう。核戦争を阻止しよう。

日帝の核武装阻止・粉碎! 尾上「核保有」発言弾劾!

政府・自民党は、「台湾有事」をあおり（11月高市発言）、改憲、自衛隊ミサイル配備、敵基地攻撃能力の保有へと大軍拡をおこなっています。政府の原発推進政策の根幹には、核保有潜在力保持一核武装があります。12年に改訂された原子力基本法には、原子力利用の目的として、「我が国の安全保障に資する」という文言があります。

高市は、「非核三原則」を否定する主張を繰り返しています。とりわけ、アメリカによる核の傘の中にいて「持ち込ませず」について成り立つのかと、見直しを主張しています。さらには、

「安全保障戦略の議論でタブーがあってはならない、確実に日本が日本の力で日本を守れる体制を」(2022年)と、核保有を含めて排除しないという姿勢です。さらに昨年12月には、国家安全保障担当の首相補佐官尾上が、「日本は核兵器を保有すべきだ」と煽動しています。また、7月の参院選で「核武装は安上がり」なる発言をした参政党が、今回の衆院選でも大幅に議席を増やしています。これらを決して許してはなりません。

原潜の導入を含め、日帝の核武装を阻止・粉碎しよう。

東電弾劾! 柏崎刈羽原発再稼働弾劾!

東京電力は、制御棒の駆動機構・警報装置などに不具合・トラブルが続発する中、当初1月の再稼働は頓挫し、2月9日、柏崎刈羽原発6号機の再稼働を強行しました。徹底して弾劾します。

核分裂連鎖反応をコントロールする制御棒は原発の暴走を止める根幹的システムの一つで

あり、何度も駆動機構のトラブルが継続している状態は危険です。再びの原発爆発事故は絶対にゆるされません。原発運転を即座に止めるべきだ。

原発再稼働阻止、原発廃炉、核廃絶へと闘おう。